



株式会社マイスター靴工房KAJIYA	業種	製造業
	事業所所在地	兵庫県神戸市

被承継者		承継者	
	エドワルド・ヘルプスト		中井 要介
事業承継時年齢	54歳	事業承継時年齢	39歳
業種	卸売・小売業	業種	製造業
事業所所在地	兵庫県神戸市	事業所所在地	東京都東久留米市
資本金	3,000千円	資本金	3,000千円
従業員数	2名	従業員数	14名

事業承継前の主たる事業内容	事業承継前の主たる事業内容
(1) 海外製の靴製造用機械・材料の輸入販売を行う卸業 (2) 店舗での健康靴・インソールなどの小売業 (3) オーダーメイド靴型装具の製造販売	靴型装具を主とした義肢装具の製造販売
被承継者と承継者の関係	事業での取引があった

事業承継の経緯	
事業承継の検討を開始した時期：2019年2月頃	
被承継者	承継者


被承継者	承継者
製造販売スタッフ不足で代表一人では手が回らなかった。また、義肢装具士がいないため医療機関との取り引きできず、新規顧客獲得が困難だった。	東京本社のみでは、遠方の顧客へサービスを行うことが難しいのが現状であったため、様々な地域の人々へサービスを提供するべく主要都市への進出を模索していた。
①海外製の靴製造用機械・材料の輸入販売を行う卸業と店舗での健康靴・インソールなどの小売業の廃業。 ②現行の顧客のアフターフォローができるから。	①特になし。 ②低コストでの支店出店、売上向上が見込めるから。
学会であったときに相談した	相手先との交渉開始のきっかけ 学会であったとき相談を受けた
特になし	課題と克服 ①財務 ・事業継助成金補助対象外の経費の確保 ・銀行融資
特になし	課題と克服 ②取引先との調整 ・前事業で扱っていない靴商材の取引先の開拓 ・知り合いの靴小売業への相談
事務所の移転	課題と克服 ③社内調整 ・神戸支店へ従業員3名転勤 ・本社では人材募集を行っている
特になし	課題と克服 ④諸手続き 特になし
事業承継を行った時期：2019年7月	

事業承継の形態	事業承継 成立の決め手になったのは？
事業譲渡	被承継者
	承継者 本社の経営も安定し支社を任せられる人材も育てたこと、非継承者の事業がその地域でなくなることで、困ってしまう顧客へのサービス継続が必要と感じたこと。

経営革新等に係る取組の標題

義肢装具士と靴マイスターによる新たな足と靴のサービスの提供と新市場開拓による事業拡大

経営革新等に係る取組の内容	その他の新たな事業活動
<p>◆KAJIYAのサービスを全国へ</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本における義肢装具士の役割は、義足、義手、コルセット等、多岐に渡る義肢装具を作ることが役割であるため、それぞれの分野において専門性が低い。そもそも日本は靴自体の歴史が浅く、靴型装具の採型技術や製作技術も未だに全国的に統一されておらず、日本の義肢装具における靴分野「靴型装具」は発展途上の分野である。 承継者は、足部疾患に対する靴型装具の先進国であるドイツの国家資格の整形外科靴マイスターと国内で補装具を取り扱うための国家資格の義肢装具士のダブルライセンスを持つ日本で唯一の医療技術者であり、当社は足部の装具、特に整形外科靴と呼ばれる靴型装具の提供に特化している。これまで東京本社では近郊の顧客獲得に留まったが、今回神戸支店を出店することで、その地域の顧客を獲得することが出来ると考え、これを足掛かりに全国への展開も視野に入れて経営を行っていく。 <p>◆医療としての靴型装具の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 義肢装具士を配置することにより、被承継会社が出来ていなかった医療機関との連携が可能になり新たな顧客へのサービス提供が可能となる。 医療保険制度と障害者総合支援法を利用して補装具を製作できるようになるので、顧客の負担の軽減に寄与できる。 	
	

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
近年、日本では糖尿病患者が増加傾向にあり、糖尿病性の足病変による下肢切断など最悪の事態に陥るのを防ぐためフットケアはとて重要視されており、主要都市ではその必要性が増している。下肢切断後、再切断や寝たきりになる患者が多く、そうなった場合介護をする家族や地域の医療費等を圧迫する大きな原因となっている。当社は、糖尿病性足病変に対する靴型装具や足底装具の製作に力を入れており、他社にはない知識と技術で患者の足を守り、地域医療に貢献できると考えている。	<ul style="list-style-type: none"> 人件費 店舗等借入費 設備費 外注費 委託費 
	<p>経費の主な使い道</p> <ul style="list-style-type: none"> 人件費 店舗等借入費 設備費(店舗改装工事費、靴型装具製造用工具、機械類導入費等) 外注費(ホームページ、パンフレット制作費等) 委託費(スーパーバイザー契約費)

認定経営革新等支援機関の名称：多摩信用金庫 東久留米支店			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input type="checkbox"/> 補助事業の実施
事業計画の立案から、申請時の文章の細かいチェックまで親身になってアドバイスを頂いた。			

今後に向けて～次の目標	
2019年から2022年に向けて	売上高 15 %UP
事業承継を機に神戸支店出店で、同地域の既存顧客へのサービス継続をはじめ、東京以外の地域での持続的なサービスの提供、併せて全国展開の足掛かりとする。また、神戸医療福祉専門学校の教育プログラムへの参加、同校インターン受入れ卒業生の地元就職への貢献等、広く社会貢献を進めていきたい。	

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
特になし。	技術もあり地域に根付いて活動される企業は全国各地にあります。しかしその一方で人手不足や制度改革で持続的経営が難しい企業も多いと思います。その企業と協力することでその地域でのサービスの継続および事業の拡大につながるチャンスは多いのではないかと感じております。